



突然迫る脅威 土砂災害

毎年平均1000件以上発生!!



いざという時のために、
避難場所、避難経路を
確認しましょう



みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間
6/1→30

がけ崩れ防災週間 6/1▶7

主催：国土交通省・都道府県

近年は1時間に50ミリを超えるような局地的大雨が増加している傾向にあり、各地で土砂災害による被害が多発しています。

■局地的な集中豪雨が増えている

1時間降水量50ミリ以上の年間観測回数の推移

※気象庁資料をもとに作成



頻発する土砂災害

異常な豪雨があいつぎ

日頃から住んでいる地域の危険度を把握する

かけや渓流の付近など、土砂災害によって生命や身体に危害を生じるおそれがあると認められる場所は、都道府県が土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域等に指定しています。土砂災害のハザードマップ等を参照して、お住まいの場所が土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等に当たるかどうか、あらかじめ確認してください(※)。これらの区域等にお住まいの方は土砂災害からの避難が必要です。

※ハザードマップについては自治体にお問い合わせ下さい。土砂災害警戒区域等に関する情報は国土交通省砂防部のウェブサイトなどからも確認できます。

雨が降り出したら情報に注意

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

土砂災害警戒情報はTV、ラジオ、インターネットの報道や、気象庁、国土交通省砂防部、各都道府県の砂防課などのウェブサイトで確認できます。



豪雨になる前に早めの避難行動を

大雨時には早めの避難

崖下や渓流沿いなどに住んでいる方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された時には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。



土砂災害から命を守るために

夜間に大雨が予想されるときは暗くなる前に避難



夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。自治体の避難勧告などの情報に注意して早めの避難を心がけましょう。お年りなど災害時要援護者がいる場合は、移動時間を考えて早めの行動を心掛けましょう。

どうしても避難が難しいときは



日頃の備えと早めの避難



土砂災害の多くは木造一階で被災しています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(例えば、がけから離れた部屋や二階など)に避難しましょう。

出典：国土交通省砂防部・気象庁ウェブサイトより

こうした現象は土砂災害の前兆現象です

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

地すべり



土石流



がけ崩れ

